



(株)丹波篠山大内農場
丹波篠山市



社長
大内 正博

ひょうご農商工連携ファンド
事業助成金を活用して

- 連携したい事業所とマッチングできた
- メニュー開発で支援を受けられた
- デザート製造機器を購入できた



陽光が降り注ぐハウス内。頭上に苗レーンが並びます

カフェメニューを開発し 地域全体が潤う観光農園を目指す

観光農園事業でブランド力向上を

深秋に差しかかるころ、同農園には近隣府県から丹波黒大豆の収穫体験を目当てに多くの観光客が訪れます。「体験の受け入れが終われば、年末年始用の収穫に取りかかります」と大内正博社長は話します。

大内家は代々、丹波篠山市今田町で水稻や黒大豆を中心とした農業を営んでおり、大内社長自身も地元JA勤務を経て、2004年に就農しました。当時、周辺の農家は高齢化や後継者不足により耕作放棄地の増加が避けられない状況でした。そのような営農が困難になった農家から田畑の管理を依頼されることが増えていきます。農地をしっかりと維持していくためには、担い手を育てる必要があると考え、08年に法人化を果たしました。現在は20代から60代までの7人の社員が働いています。

「丹波篠山」ブランドの後押しもあり、収穫した農産物の大半を自主流通で販売しています。減農薬栽培にも積極的に取り組み、「大内農場」としてのブランド力向上も図っています。また、並行して大内農場の認知度を高めるため、06年からはバス会社と連携し、丹波黒大豆の収穫体験が楽しめる観光農園事業を進めてきました。

年中地域に人を呼び込めるように

2020年から拡大した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光農園の来園者は激減しました。大内社長は以前訪ねた淡路島のイチゴ農園で大いに楽しめた経験から、コロナ明けを見据えイチゴ農園とカフェをセットにした施設の整備に着手します。

まず、ひょうご産業活性化センターの農商工連携ファンド事業の助成金を活用し、尼崎市の(株)デザートプランと組んでカフェメニューの開発に取り組みました。イチゴパフェやスムージーのほか、神戸市内の製あん業者を紹介されてイチゴや黒大豆のあんを開発し、回転焼きもメニューに加えました。スムージー製造用の瞬間冷凍機、回転焼き機の購入にも助成金を充てました。

さらに、ビニールハウスにはモーターで上下動できるつり下げ式の苗レーンを導入。「通路スペースが不要なため、一般の農園の1.5倍のイチゴを栽培できます」と大内社長。イチゴ狩りの客がいる時は摘み取り用のレーンだけを下げ、開放部分はカフェスペースとして使います。

23年にオープンし、2年目の今年はイチゴ農園だけで1万人が来園するなど順調な滑り出しです。今年から次

制度利用の流れ

2021年8月

当センターに
助成金を申請

11月

事業計画が
採択される

11月～

助成事業を実施

22年4月(1年目)

実績報告→助成
金受給(7月)

23年2月(2年目)

実績報告→助成
金受給(3月)



イチゴをふんだんに使ったカフェメニュー



モダンな建物にはショップや事務所が入ります

女が夏に収穫するマスカットの栽培を始め、年間で集客できる体制も整いました。「周囲に飲食店が多いことからフードメニューは外してカフェメニューに特化し、今田町全体で潤えるようにしたい」と観光農園を生かした地域貢献への思いも強めています。

株丹波篠山大内農場

丹波篠山市今田町本荘395 T 079-597-2517

●代表取締役社長／大内正博

●事業内容／農業、観光農園

H <https://www.tamba-ouchi-farm.com>

ひょうご農商工連携 ファンド事業助成金

県内の中小企業者等と農林漁業者の連携体による新しい商品・サービスの開発を支援します。

【対象者】県内の中小企業者等と農林漁業者の連携体

【対象事業】県内の農林漁業資源を活用した新商品の開発、新サービスの提供のために取り組む事業

【対象経費】研究開発費、販路開拓費

【助成額】上限400万円(対象経費の3分の2以内)

利用メリット

- 中小企業者と農林漁業者の互いの強みを生かした商品開発が可能になり、新たなビジネスチャンスを創出します
- 助成支援を受けた商品については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRを支援します

問ひょうご産業活性化センター新事業課

T 078-977-9072

制度の詳細についてはホームページをご覧ください



だけ

あなたの本を

「オーダーメイド」

<https://kobe-selfpub.jp>
 KOBE 自費出版 web
 こちらから

自費出版

見積り無料

まずは電話かメールでお問合せください

TEL. 078-362-7140

✉ jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

株式会社 神戸新聞総合印刷

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7